



Fig. 3. 断層に直交する方向 (N120E) にとったP波速度鉛直断面. 小さな黒の+, 白の+は, 余震の震源およびインバージョンに使用したグリッドを示す. DWS (Derivative Weighted Sum) の大きな領域を白点線で囲む. ☆は本震およびM6以上の余震を示す. 防災科技研F-netによるモーメントテンソル解を断面に下半球投影にて示す. 薄い破線は本震・最大余震・10月27日のM6余震の余震の並びから推定される断層面を示す. 太い白破線はYagi (2005) によるアスペリティを示す. 赤い口は主な活断層(M:六日町断層, S:諏訪峠拗曲, O:小平尾断層)の地表トレースの位置を示す.